

## ～今後の管理のポイント～

- 成熟期を見定め、適期の収穫を行いましょう。
- 向こう1カ月間の降水量は「平年並か多い見込み」！

**高水分麦は、穀粒水分30%以下になるまで低めの温度で送風を！**

## 1 気象経過

- ・気温は、2月中旬以降5月下旬まで、ほぼ高温傾向で推移しました。
- ・日照も、2月中旬以降5月下旬まで、概ね平年並～多照傾向で推移しました。
- ・降水は、3月第6半旬～4月第2半旬、4月第6半旬～5月第3半旬、5月第5半旬～6月第1半旬と、断続的にまとまった降雨がありました。
- ・平均湿度は、5月第3半旬～第6半旬の21日間のうち、5月12日～16日、21日～28日の13日間は80%を越え、**6月以降も高湿度状態が継続**しています。

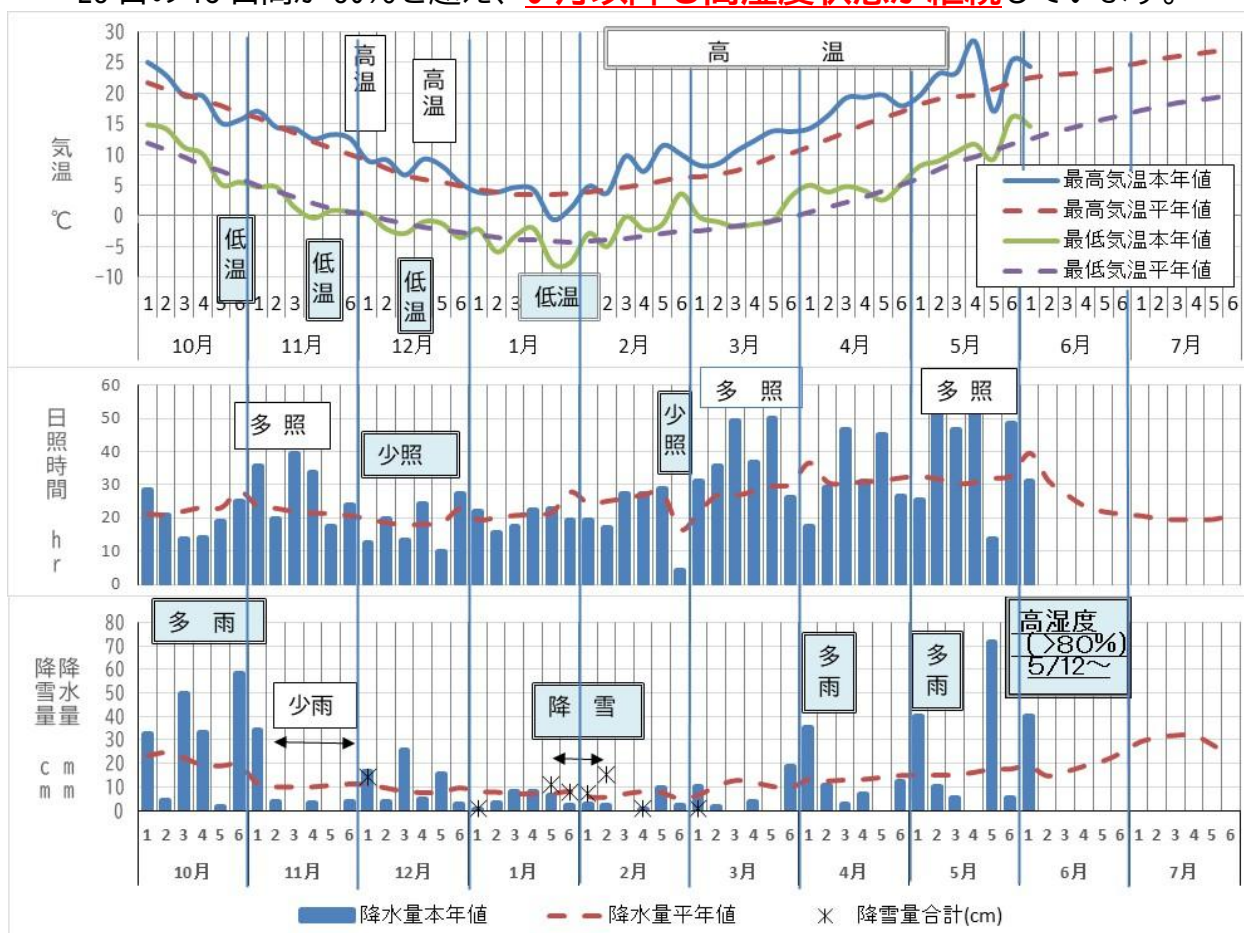


図1 気象経過（アメダス古川）※実線と棒グラフは本年値，点線は平年値

## 2 今後の生育ステージの見通し

### ○小麦「シラネコムギ」

- ・ 出穂期は平年より1日早い5月3日となりました。成熟期は小麦で出穂後45～50日にあたる6月17～22日頃と予測されます。
- ・ **収穫作業の目安は、成熟期後3日頃にあたる6月20日～6月25日頃と予測**されます。

表1 「夏黄金」並びに「シラネコムギ」生育ステージ（実測と予測）

地区名 品種名	播種日			出穂期			成熟期（予測）		
	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年	平年
古川 夏黄金	11/8	-	-	5/4	-	-	6/18 ～6/23	-	-
古川 シラネコムギ	10/22	+3	+1	5/3	±0	-1	6/17 ～6/22	6/19	6/19

※ 播種日と出穂期は確定日

## 3 今後の管理

### (1) 収穫作業

#### ○収穫時期

- ・ 成熟期は「茎葉及び穂首部が黄化し、粒がほぼロウぐらいの硬さに達した時期」となります（図2、表2）。この時期の穀粒水分はかなり幅があり、概ね32～45%です。
- ・ **収穫作業は子実水分30%以下（成熟期後3日頃）を目安**に行いましょう。
- ・ 生育のバラツキが大きいほ場では、生育の正常な株に焦点を合わせて判断しましょう。

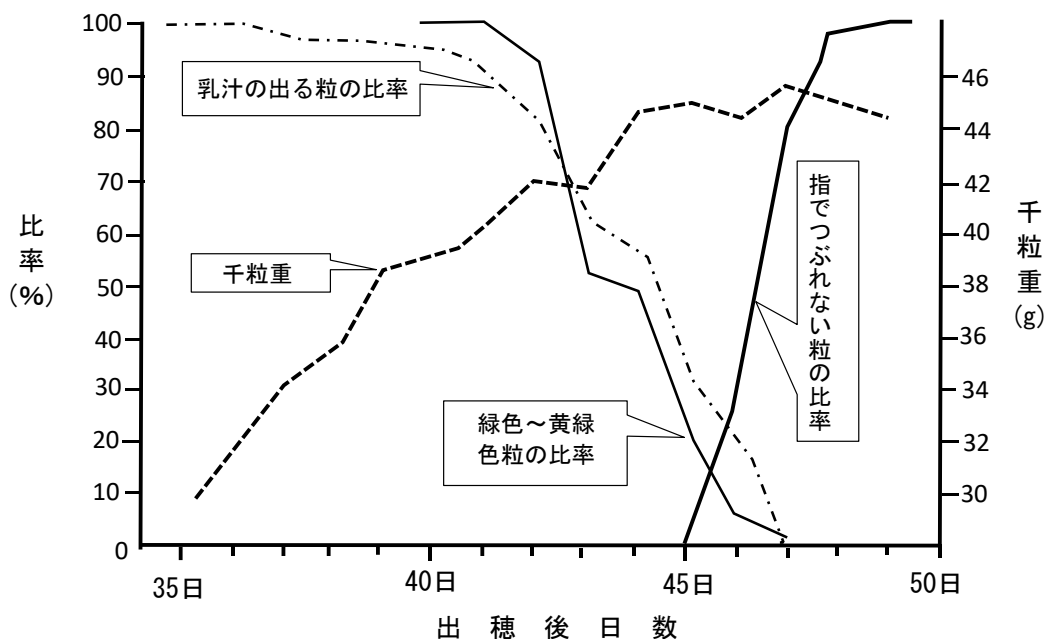


図2 小麦出穂後の日数と粒の成熟

表2 成熟期の判定

外観の色	茎葉及び穂が黄色くなった頃
子実の色	褐色
子実の硬さ	指で押さえて乳汁が出ない口ウ状の硬さ

### ○降雨後の刈取り

- ・ 麦の収穫は梅雨時期と重なるため、やむを得ず高水分状態で収穫しなければならぬ場合があります。穀粒水分が高いほど選別不良や損傷粒が増加するので、扱胴の回転数は低め（稲用）に設定しましょう。
- ・ 切替えができない機種では、スロットルでエンジンの回転数を下げ、作業速度の低下と刈取条数を減らすなど、扱胴への穀粒流量を少なくさせましょう。

### ○刈分けによる品質低下の防止

- ・ ほ場内で部分的に穂数が不足しているなど生育ムラが大きい場合は、未熟粒の混入を防ぐため、登熟状況に応じて刈分けを行いましょ。
- ・ 赤かび病の被害が見られるほ場については、健全な子実への**赤かび粒の混入を防ぐため**、被害株の刈分けや仕分け乾燥・調製を行いましょ。

## (2)乾燥・調製作業

### ○乾化作業

- ・ 収穫後、袋等に詰めたまま放置すると、水分が高いほど短時間のうちに穀温が上昇し、熱損粒発生の原因となります。**刈取り後は速やかに乾燥機に張り込み、通風させましょ。**
- ・ 循環型乾燥機を使用する場合は、表3を目安に送風乾燥を行いましょ。

表3 子実水分と送風温度の目安

子実水分（検査時）	送風温度	
小麦	標準 (穀粒水分 30%以下)	<b>高水分麦</b> の場合（穀粒水分 <u>30%以上</u> ）
12.5%以下	50～60℃	① 張込量は60～70%とし、 ② 穀粒水分30%以下になるまで <b>低めの温度（40～45℃）</b> で通風し ③ 30%以下になったら標準の乾燥温度とする

### ○調製作業

- ・ 乾燥が終了したら風選、篩選等で選別します。網目は小麦では2.4mm以上とし、高品質生産に努めましょ。

## 東北地方 1 か月予報

(6月6日から7月5日までの天候見通し)

令和8年6月4日  
仙台管区气象台 発表※抜粋

### <向こう1か月の天候の見通し>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	30	50	20 (平年並の見込み)
【降水量】	東北地方	20	40	40 (平年並か多い見込み)
【日照時間】	東北地方	40	30	30 (ほぼ平年並の見込み)

### <気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	70	20	10 (低い見込み)
2 週 目	東北地方	20	30	50 (高い見込み)
3～4 週目	東北地方	30	30	40 (ほぼ平年並の見込み)

### ◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中(令和8年3月1日～6月30日)◆◆◆◆

農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、安全対策として、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用の徹底、③安全フレーム・キャブ付トラクターの使用を心がけましょう。

スローガン 「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

### ◆◆◆◆農薬危害防止運動実施中(令和8年6月1日～8月31日)◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「使用前、周囲よく見て ラベル見て」

「大崎地域の稲作技術情報」,「大崎地域の大豆作技術情報」,「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

